

トップメッセージ

「シチズン」という
社名に込められた想いを
世界に届けることで、
持続可能な成長・発展を
実現してまいります。



「真のグローバル企業」の実現に向けて

シチズングループは、2013年2月に『シチズングローバルプラン2018』を発表しました。これは、変化の激しい市場環境において、シチズングループが世界で勝ち抜く「真のグローバル企業」として持続的に成長・発展していくために、2018年度を最終目標としたシチズングループのありたい姿と、その実現に向けての計画を策定したものです。

グローバルプランの1年目に当たる2013年度は、徹底した体質強化に取り組みました。大幅な組織改編や人材の適正化を図り、報酬制度、人事制度なども根本から見直しました。この取り組みを推進できたことで、新しい時代に向けてシチズンを新しい会社にしたい、という従業員一人ひとりの意識がしっかりと芽生えていることを確認できました。

新たなシチズンを創り上げるのは人材の力

製造や販売に限ったことではなく、人材のグローバル化を推進することも重要です。シチズングループでは、「先頭に立って行動することを恐れない人」「問題意識があり向上心の強い人」「強い意志を持ってやり抜く人」という3つの要素をもった人を、「真のグローバル企業」に必要な人材と位置づけています。これらを満たす従業員の活躍が増えることで、「真のグローバル企業」は実現できると考えています。そのため、外部講師による研修や他業種の方々との交流など、外に目を向けた施策により、新たな資源を身に付けることにも取り組んでいきます。

グローバル視点での環境への

取り組みを推進

環境への取り組みについては、グローバルな視点による環境経営の強化をめざした「シチズングループ環境中期計画2018」に基づき、エコアクション100と呼ばれる活動プランを策定し、中期目標の実現に向けた活動を推進しています。それらの取り組みの一環として、グループのガバナンスを強化し、より効率的で実効性の高い環境経営を推進するために、ISO14001「グループ統一認証」体制への移行を進めています。統一の認証とすることでシステムのスリム化を図り、監視、監督、見直し、改善を充実させることが目的です。今後もグローバルな視点で、環境管理活動を強化していきます。

シチズンの社名に込められた想い

私たちの「シチズン」という社名は、まさに「市民」を表しています。ここでいう「市民」とは、自由な精神のもとに改革を押し進める文化の担い手であり、日々挑戦し変化を起し続ける人であり、そういった「市民」にいかに関与していくかというのが、私たちの社名に込められた想いです。全ての原点はこの「シチズン」という社名にあり、何か判断に迷う時があった時も立ち返るのは社名である「シチズン＝市民」です。それを意識し日々の事業活動に取り組むことが、私たちのCSR活動であるといえます。ここで従業員にも、社名の持つ意味を改めて考えてもらいたいと思っています。

事業を通じて社会に価値を提供する

従来のCSR活動に加えてCSV(Creating Shared Value)という社会との共有価値を創出する事業活動が期待されています。シチズングループは創業当時より地域社会に根ざした取り組みを行い、社会に貢献する活動を推進してまいりました。今後は、そこにどう企業価値を結び付けていくかを考えることが重要だと思えます。ただ、過去を振り返ると、世界初のソーラー式アナログ腕時計や消費電力を大幅に抑える光発電エコ・ドライブ、日本初の視覚障がい者向けの腕時計など、お客様(社会)のニーズに応える製品を開発してきました。それは結果的に社会課題の解決に資する製品であり、CSVを実践する取り組みであったと思えます。つまりは、「シチズン」として事業活動を推進することが、企業価値の創出にもつながっているのだと思えます。

これからは、よりグローバルな視点での社会課題に目を向け、社内外と連携しながら「シチズングループ」として製品やサービスを提供することで、事業を通じた価値創出を実現していきたいと考えています。また、このような取り組みを行うチャレンジ精神あふれる従業員を応援していきたいと思っています。

2014年6月

戸倉敏夫

シチズンホールディングス株式会社
代表取締役社長